



トレーニングコースの目的・概要

電子顕微鏡観察法と試料作製法のトレーニングを行う。最先端のクライオ技法をメインに、生物試料の高圧凍結から始まるクライオワークフローとして、凍結試料の凍結割断法、凍結切削法などの凍結試料作製法、ならびに作製した凍結試料のクライオTEM/SEM観察法についてのトレーニングを、それぞれの技法ごとに年数回に分けて実施する。さらに、一般的な電子顕微鏡法、各種の試料作製法についての相談や技術トレーニングについても、個別に対応する。

コース内容

試料作製から電子顕微鏡観察まで

基礎技術：常温下での技術支援（化学固定、樹脂包埋、常温切削、電子染色、TEM/SEM観察）

応用技術：凍結技法における技術支援（高圧凍結、凍結割断、凍結切削、クライオTEM/SEM観察）

対象とする受講者

電子顕微鏡法の初心者から中級者程度。大学院生、ポスドク、または大学/研究機関等の研究者。

開催場所

兵庫県立大学 SPRING-8キャンパス

トレーニングコースホームページ

作成中



加速電圧200KVの透過型電子顕微鏡：電子線トモグラフィー観察、およびクライオトランスファーホルダを用いたクライオTEM観察を行うことができる。



凍結ウルトラミクロトーム：液体窒素冷却チャンバーを装着し、凍結試料の超薄切削が可能。防霜用の囲いを取り付け、コンタミネーションを軽減させている。